

人と人、世代と世代、地域と地域をつなぐ架け橋

三重県議会議員 伊藤まさよし

県政レポート

No.2 令和7年4月号



令和7年の新春を迎えたのも束の間、早いもので年度替わりの時期を迎えました。皆様には、新年度も変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。今年度も子どもたちの環境整備、防災、福祉、地域の安全安心を基軸に活動を進めてまいります。



発行者 三重県議会議員 伊藤雅慶 〒510-1312 三重郡菟野町竹成 291-9 TEL 059-396-2052 tama_291@m4.city-net.ne.jp

県が防災アプリを導入 スターリンクも整備

一昨年より、常任委員会の場で開発、導入を提案してまいりました公式防災アプリが、県の取り組みにより完成し、昨年11月から「みえ防災ナビ」として運用が開始されました。防災情報の受信や避難所への避難等に是非、お役立てください。

また、同時期に導入を提案してまいりました衛星通信「スターリンク」も、各地域の防災拠点を中心に整備が始まりました。

県として、議員提案を真摯に受け止め、検討いただき、実現いただきましたことに、深く感謝申し上げます。

ただ、防災アプリでは提案当初から音声ナビ機能や多言語への簡単切替、各避難所の機能や混雑情報の発信、また、スターリンクでは山間部への整備など、機能面、運用面に関して様々な提案をしています。出来るだけ早く対応いただくよう、今後も県と積極的に対話してまいります。

県行政には、「目的」「手段」を常に意識していただき、広報も含め更なる充実を図りながら、防災対策や県民の安全安心に繋げていただくことを期待しています。

みえ防災ナビ
知ることも、いぼできること

いぼという時、避難に必要な情報を届けます

ダウンロードはこちらから!

議会質問（令和6年9月定例会月会議）文化・観光振興による地域活性化と主要道路の各種対策のご提案

県も積極的にガーデンツーリズム推進を

三重県には神宮の神苑をはじめ、魅力的な日本庭園、洋風庭園、植物園等が多数存在することや県が昨年3月に「花とみどりの三重づくり条例」に基づく基本計画を策定したこと、また、国土交通省もインバウンドで人気の高い「庭」をテーマにした旅行形態を推進しており、「ジャパンガーデンツーリズム」として登録制度を設けていることなどから、庭園等を巡る県内観光ルートを創出し、周遊型観光やインバウンド誘客、地域活性化等に繋げるよう提案しました。



重森三玲作庭の横山氏庭園表庭

具体的には現在、前述の国登録に向け取り組んでいる庭園関係者と連携し、認定の前提要件となる他の庭園等事業者や観光関係者、関係自治体等との「協議会」を立ち上げ、事業に参画するよう提案しました。

県執行部からは、国外・訪日旅行に関する国の調査において「庭園、花鑑賞」が4位、県の調査において「自然や風景を見てまわる」が1位であり、旅行目的として人気が高いことや県内に庭園や花の名所がたくさんあり、食や体験、宿泊等と組み合わせることで誘客に繋がることから、現在の情報発信等に加え、県が進めるジャパンガーデンツーリズムの登録を目指し、国として協議会に参画するとともに、広域的な支援をおこないインバウンドも含めた観光誘客に繋げたいとの答弁がありました。

私としては、東海3県初の国登録に期待するとともに、ガーデンツーリズムが観光振興の起爆剤となり、地域活性化や県内事業者等の連携強化に繋がることを期待しています。

また、「庭」が新たなコンテンツとして醸成した際には、姉妹提携や産業政策等で連携しているスペインの都市などに三重県らしい庭園を協同作庭するよう提案しました。神宮の佇まいを持った日本庭園が海外に作庭されれば、三重の魅力発信はもとより、海外拠点、アウトバウンド先として両国、両地方政府間で観光や産業、教育、芸術文化、スポーツなど幅広い分野の国際交流が一層深まり活性化が図れると考えます。

海外都市との周年事業をはじめ様々な機会を捉え、近い将来、国益、県益も見据えた世界規模のガーデンツーリズムが展開されることを期待いたします。

祝 登録決定

国道306号、北勢バイパスの対策強化を

近年、交通量が増加し続けている国道306号について、地域の現状を訴え、渋滞対策や交通安全対策を講じるよう求めました。



その中でまず現在、対策工事が始まっている菟野町田光区の相生橋とその周辺道路の狭隘区間については、事業関係者から令和9年度内に工事完了予定と伺っていることから、執行部に對し計画通り事業を進めるよう求めました。

その上で、長らく懸案となっていた杉谷区の危険箇所（狭隘区間）については、生活道路として自転車や歩行者の利用も多いことや尾高観音、三重県民の森など、菟野町北部の集客エリアへのアクセス道路でもあること、また、これまでおこなってきた国・県・町の要望書提出などの経過を踏まえ、道路幅や歩道整備、交差点改良（右折レーン設置）など、道路改良を計画的におこなうよう訴えました。

県執行部からは、現在進めている菟野町田光区内の相生橋の拡幅（歩道新設を含む）や橋梁前後の歩行空間の整備が完了した後、速やかに杉谷区内の道路改良事業に取り組みめるよう、菟野町や地元関係者と意見交換をおこないながら進めていくとの答弁がありました。

私としては、議場において具体的な対策時期が示されたことにはまず安堵しました。工事着手までの間の安全確保や前提となる田光区内の工事進捗について、引き続き、緊張感をもって注視してまいります。

この他、菟野交差点から菟野大橋北交差点区間の渋滞状況や菟野交差点の通学環境にも触れ、あらためて国道306号の懸案に対し、関係機関との連携のもと必要な対策を講じるよう求めました。

また、朝日町地内の北勢バイパス四日市・朝日交差点の狭隘な状況についても報告し、県から三重河川国道事務所に対し、改善を図るよう申し入れて欲しいと訴えました。その上で、あらためて県に対し、関係自治体等との連携を強化し、地域要望や地域課題の共有を図りながら、一層安全で機能的な道路交通環境、道路ネットワークを構築するよう強く要望しました。

